

■使用上のご注意

- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。

■LEDユニットについて

- LED光源寿命(光束維持時間)は、40,000時間です。
光束が70%以下になるか、不点灯になるまでの時間で、照明器具の保証寿命とは異なります。
- LEDのみの交換はできません。
- LEDは輝度が高いため、直視しないでください。
- LEDにはバラストがあるため、同一型番でも発光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 電源ON時にスイッチが点灯する表示付スイッチに使うと、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

△警告 器具を水洗いしないでください。火災・感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
- 器具の汚れは柔らかい布などで、乾いたまま拭き取ってください。
薄めた中性洗剤を使用する場合はよく絞ってから、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。またシンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具

取扱説明書

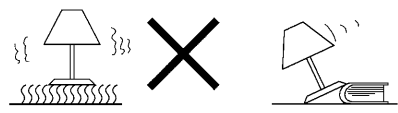
型 番 AT51305・AT51306・AT51307

お客様へ

コイズミ照明器具をお買い上げいただきありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。

保存用

【安全上のご注意】

⚠ 警 告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
⚠ 厳守	器具の組み立ては、説明書に従い確実に行な ってください。→器具の組み立てに不備があると 火災・感電・転倒・落下によるけがの原因になりま
⊘ 禁止	不安定な場所や、燃えやすいものの近くで使 用しないでください。→火災・転倒・落下によるけ がの原因になります。 
🔧 分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用し ないでください。→火災・感電・落下によるけが の原因になります。
⊘ 禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込ま ないでください。→感電・故障の原因になります。
	器具を布や紙などでおおって使用しないでくだ さい。→火災の原因になります。
	ベットや枕元・カーテンの近くで使用しないでく ださい。→火災の原因になります。
⊘ 禁止	ぬれた手で差込プラグを触らないでください。 →感電の原因になります。
⊘ 禁止	電源コードに重いものを載せたり、挟み込んだ り、踏んだりしないでください。→電源コード が損傷し、火災・感電の原因になります。
	電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引 っ張ったりしないでください。→電源コードが 損傷し、火災・感電の原因になります。
	電源コードが損傷した場合(芯線の露出・断線な ど)、速やかに電源を切り、工事店・電器店に修 理を依頼してください。→そのまま使用しま すと、火災・感電の原因になります。
⚠ 厳守	長時間使用しない場合は差込プラグを抜いてく ださい。→長期間の外出やご旅行のときは安全 のため、コンセントから抜いてください。
	異常を感じた場合は、速やかに電源を切り、差 込プラグを抜いてください。→放置しますと火 災・感電の原因になります。工事店・電器店にご 相談ください。

 注 意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。			
 接触禁止 点灯中や消灯直後は器具が高温のため触らない でください。→やけどの原因になります。	 禁止 差込プラグを抜くときは必ず差込プラグを持っ て抜いてください。→電源コードが損傷し、火 災・感電の原因になります。		
 水ぬれ禁止 この器具は非防水です。湿気の高い場所や屋外 では使用できません。→火災・感電の原因にな ります。		器具の近くにストーブなどの高温のものを置か ないでください。→火災の原因になります。	
 禁止	ライトコントローラなどの調光器との併用はで きません。→火災の原因になります。調光器の 取外しが必要です。調光器の取外しには資格が 必要です。工事店・電器店へ依頼してください。	 厳守 表示された電源電圧(AC100V)以外の電源で 使用しないでください。→火災・感電の原因にな ります。	
	周囲温度5～35℃、湿度45～85%の環境以外 では使用しないでください。→火災・感電の原 因になります。		照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異な りますが、一般的な使用状態で8～10年が目安 です。数年に1回は、専門家(工事店・電器店)に よる点検を実施していただき、不具合がありま したら適切な処置を施してください。→放置す ると、火災・感電・故障の原因になります。
	点灯したまま器具を持ち運ばないでください。 →火災・感電・故障・やけどの原因になります。		

コイズミ照明器具 保証書 < 保 証 に つ い て > 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。但し、LED電源、LEDモジュール、LED電球は3年間です。 3. グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。 ※お客様へ 保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。 <アフターサービスについて> 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎていたときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。 ※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。 ※This warranty is valid only in Japan.			
保証期間(お引き渡し日より)本体:1年間 LED電源/モジュール/LED電球 :3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号	
お買上年月日			
お 客 様	お名前		
	ご住所		
	電話 ()		

■定格

型 番	定格電圧	入力電流	消費電力	使用ランプ
AT51305・AT51306・AT51307	AC100V	0.07A	3.8W	LED

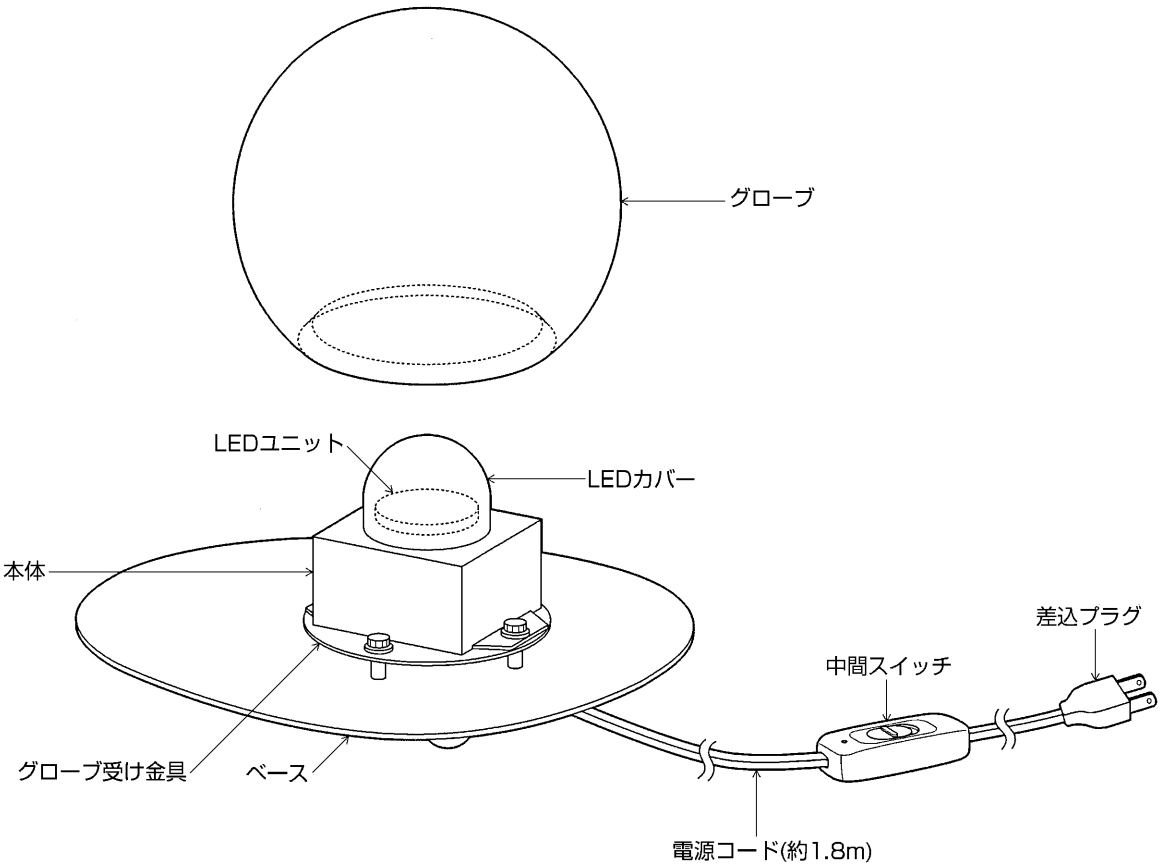
■使用前の確認

設置場所を確認する

- 不安定な場所、状態で使用しない。
- 倒れないよう安定した場所で使用する。

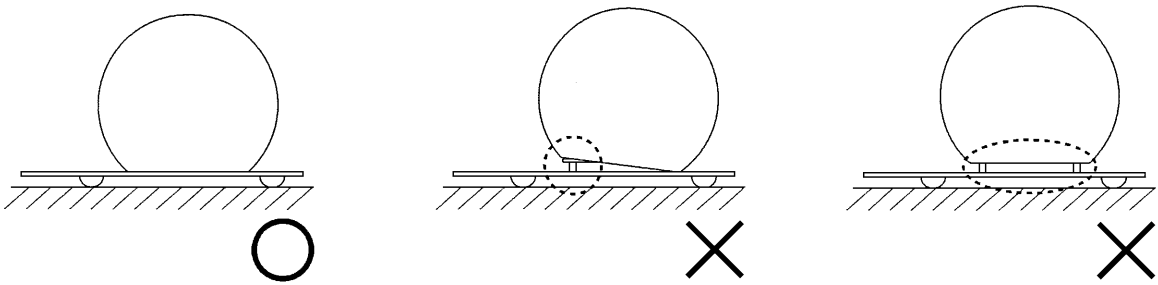
■使用手順 △注意 組み立ての際は必ず差込プラグを抜いてください。感電の原因になります。

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



1 グローブの取付状態を確認する。

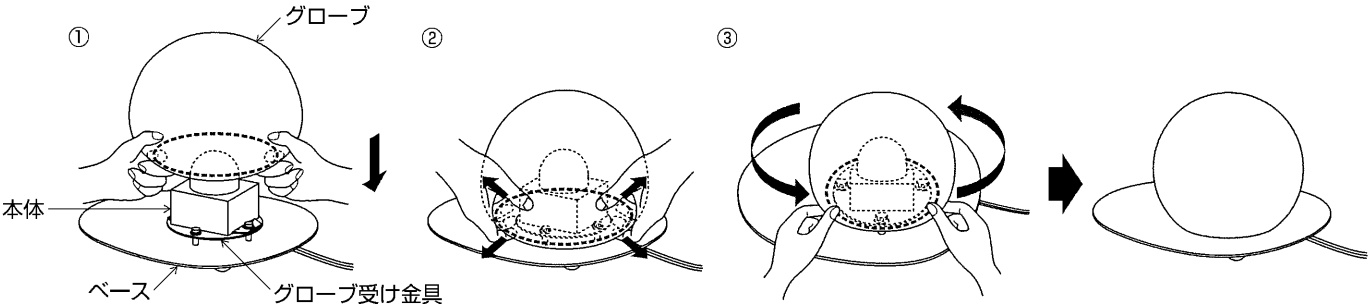
グローブがベースと接しているか確認してください。



※グローブを取外す際はグローブを真上に引っ張り、取外してください。

※グローブの取付けは以下の手順で取付けてください。

- ①本体にグローブをかぶせる。
- ②グローブの開口部を引っ張り、グローブの淵をグローブ受け金具に引っ掛ける。
- ③グローブの淵がグローブ受け金具に均等に引っ掛かるようにグローブを軽くつかみ、左右に2～3回、回転させてください。

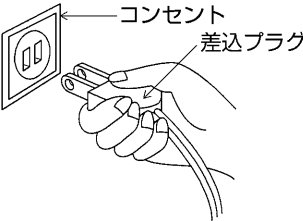


※取付け後、グローブが正しく取付けられているか、グローブがベースと接しているか確認してください。

△警告 LEDカバーをはずさないでください。
やけどの原因になります。

2 差込プラグを接続する

コンセントに差込プラグを差し込む。



3 点灯の確認を行なう

■点灯順序

- 中間スイッチのツマミを動かしてください。

